

平成27年秋の叙勲・褒章・危険業務従事者叙勲

永年にわたる職務に対する功労や社会貢献をたたえる秋の叙勲、社会の各分野における優れた行いや業績をたたえる褒章、永年にわたって危険性の高い公務に携わり、社会に貢献された功績をたたえる危険業務従事者叙勲の受賞者が発表されました。

市内からは、瑞宝双光章に小菅忠彦氏（板橋）、瑞宝単光章に滝村健氏（小絹）、関俊男氏（西ノ台）、直井清氏（神住新田）の3人がそれぞれ受賞されました。今回の受賞をお祝い申し上げますとともに、ますますのご活躍をお祈りいたします。



瑞宝双光章
小菅 忠彦氏（板橋） 65歳 元取手市消防司令長

消防功労

住民の生命と安全を守るため、その職責を全うされました。

同氏は、特に火災予防に関する業務に長く従事され、各種火災予防に関する規程などの整備を行い、円滑な予防事務を進めるとともに、学校などでの避難訓練や事業所における消火訓練の指導にあたるなど、啓発活動を通じて市民の防火意識を高め、火災予防の推進に貢献されました。

【受賞者の声】

このたび、叙勲の栄誉を賜り大変光栄に思っております。こ

瑞宝単光章

滝村 健氏（小絹） 71歳 元衆議院参事

議院業務功労



滝村氏は昭和43年に衆議院参事に任命され、衆議院事務局庶務部に勤務。平成16年に自動車課車両運行管理専門職として退職されるまで、永きに渡り国会議員の配車係として従事され、その議員活動を支えられました。

同氏は、国会における建設委員長や議員運営委員長などの国会議員を担当され、政党に配属となつてからは総務会長や国会対策委員長などの政党役員議員の方々を担当されるなど、多忙を極める国会議員を補佐し、そ

れも職場の同僚や多くの関係者の皆さまのご指導の賜物と深く感謝しております。

これからは、いままで培った経験を生かし微力ではありますが地域に貢献していきたいと考えています。

瑞宝単光章
関 俊男氏（西ノ台） 66歳 元東京消防庁消防司令

消防功労



関氏は昭和42年に東京消防庁に入庁され、成城消防署に配属。

その後、本庁広報課報道係、総務課秘書係などを担当され、平成21年、金町消防署での勤務を最後に退職されるまで、永きに渡り住民の生命と安全を守る職責を全うされました。

同氏は、広報課在任時、災害現場の被害状況などを把握し、迅速かつ正確に報道機関に伝え

【受賞者の声】

の遂行に尽力されました。

このたび、叙勲の栄誉を賜り、大変光栄であります。これも、多くの皆様からのご指導と、家族の支えがあったおかげと深く感謝しております。

これからも、健康に留意してこれまでの経験を活かし、少しでも地域に貢献できればと思っております。